



第63号

発行所
大原野自治連合会
大原野社会福祉協議会

安心・安全な

大原野をめざして

大原野自治連合会長 永谷 文隆

盛夏の候、大原野地域の皆様には益々ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。日頃は何かと自治連合会の各種事業の取り組みに温かいご理解ご支援を賜わり厚くお礼申し上げます。平成28年度も3ヶ月が経過し自治連合会・各種団体の活動も順調に推移しています。

さて、4月14日に発生した熊本地震では、40数名の犠牲者や多くの方が被災され、今なお、避難所生活を余儀なくされています。一日も早い復旧復興を念じています。今回は熊本県・大分県にまたがる活断層を震源とする直下型地震により被害が大きく、又、余震の頻度が非常に高く、地域の皆様の心労はいかなるものかと察します。地震は予知予測が困難で、大原野地域に於いても活断層が縦断しています。いつ発生しても対応できるように日頃の避難所運営の準備が不可欠です。

全なまち西京」を目指して「世界一安心・安全おてもなしのまち京都」市民ぐるみ推進運動」西京区推進協議会が設立されました。大原野自治連合会に於いても、この運動を地域あげて犯罪のない安心・安全な地域に皆様と共に取り組んで参りますのでご協力をお願い致します。

西京区は昭和51年10月に右京区から分区分して、平成28年で40年という節目の年を迎えます。分区分当時89,000人であった人口が現在151,000人となり、この間洛西ニュータウン・桂坂の開発、京都大学桂キャンパスの開校、京都第二外環状道路や千代原口交差点の地下トンネルの開通など、皆様と共に輝かしい発展を遂げて参りました。この度この節目の年にあたり、私たち西京区民すべてが西京区の誕生40周年を記念すると共に、更なる飛躍と発展を願って記念事業が実施されます。各学区・地域自治連合会と各種団体で構成する「西京区制40周年

記念事業実行委員会」が平成27年10月に結成されました。この記念事業に多くの区民の皆様にご参加頂き、今後の西京区の魅力あるまちづくりに資するものとなるようよろ

自助、共助そして公助

福祉のまちづくり三つの「助」

大原野社会福祉協議会長 小原 喜信

向暑の候、地域の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は大原野社会福祉協議会の事業活動にご理解とご協力を賜わり誠に有難うございます。また今年2月には、大原野自治連合会を通じて賛助会費のご支援を頂きましたことを厚く御礼申し上げます。

東日本大震災の惨禍。あの日、自然の脅威をまざまざと見せつけられました。また、4月に九州地方で大地震が発生いたしました。改めまして、熊本地震の被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

大原野消防分団長に

就任して

大原野消防分団長 林 寛幸

今年度4月より、田中前分団長の後を受け、就任させて頂くこととなりました。よろしくお願い致します。

さて、わたくしも平成10年に入団し、春日支部を経て分団本部に上がりまして、18年が経とうとしております。その間には、さまざまな火災現場や人命救助等を経験して参りました。18年間で思ったこと……それは、災害はいつ起こるか本当に分らないと実感しております。

地震・雷・火事・親父といった言葉があります。地震は各地で大きな

とは地域の皆の願いです。そのためにこの三つの「助」を是非ご理解していただければと思います。

①「自助」私たち自身の人生を豊かにしていくために、健康に留意し、教養を高め、積極的に人とのつながりをもつこと。

②「共助」豊かな地域づくりに協力・協働すること。近隣の方々どうしがともに支え合い助け合い、また協働してさまざまな市民活動やボランティア活動に参加すること。

③「公助」行政機関などが提供する各種サービスを活用し、課題の解決を図っていくこと。

しかし、公助は地域福祉においてはあくまで補完的な役割であり、地域福祉の推進にあたっては先ずは自助、そして最も

大切な共助、それでも解決できない場合の公助となります。ともに支え合い助け合う地域社会の実現には、地域の皆が三つの「助」を適切に効果的に展開させていくことが大切です。

被害をもたらしております。この地域にも、京都西山断層があります。近辺には花折断層も……いつ起こってもおかしくはない。人の力では防げない災害の一つです。そのため、定期的な、また忘れかけた頃にも一度見直して頂ければ有りかと思えます。大原野分団一同からお願い致します。

また、人の注意次第で防ぐ事の可能な災害もあります。火災がその一つです。そのために、大原野分団では、毎月5日、20日を無火災推進警備としまして、洛西ニュータウンの境谷・竹の里を含む大原野地域にて、広報活動を行っております。また、年末の20日から30日までの10日間は連日連夜、同様の年末特別警戒を行っております。予防運動はもちろん、起こりうる災害に備え、対応するべく各種の大規模災害対応訓練も行っております。災害から自分たちのまちは自分たちで守ると、使命感を持って大原野消防分団一同頑張っております。

しかし、地域のために頑張る消防団員は減少傾向にあり、年々団員の確保が難しくなっております。そのためには地域住民の皆様と共に相互に協力し合いながら、ご理解ご協力を頂ければならない問題かと思っております。

今後とも大原野社会福祉協議会へのご理解とご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

心鏡邑和

●家の前の畑で野菜を作っている。畑仕事は休日の楽しみであり、雑草と闘う苦行でもある。野菜に関する面白い本に出会った。タイトルは「野菜は世界の文化遺産」(久保功著、淡交社出版)。著者によると私達に身近な野菜はそれぞれの原産地から壮大な時と空間を費やして日本に到着したという。トマトやじゃがいもの原産地がペルーとは知っていたが、大根やかぶらが地中海沿岸とは知らなかった。千枚漬に使われる聖護院かぶらは、地中海地方(トルコ)からシルクロードを旅して、多くの民族に育てられながら京都に定着したというロマンチックな話である。また、江戸時代の天才画家、伊藤若冲は京都錦の青物問屋出身だけあって多くの野菜を描いている。特に「野菜涅槃図」は面白い。大根、かぶら、茄子、トウモロコシ、カボチャなど、世界各地からやってきた野菜が総出演。グローバルな野菜の文化史が詰め込まれているという。●夏野菜の季節。我家の畑にも世界各地からの野菜。インドから茄子、ペルーからトマト、中南米から唐辛子等。久保氏によると野菜の歴史にはそれぞれドラマがあるということだが、一方雑草の方はどうなのか？天敵のドクダミやヤブガラシはどこからきたのだろうか(こんな本を書いて売れるかな)？。(京都放送 中澤隆司)

平成28年度自治会長・各種団体長名簿

早いもので平成28年度も3ヶ月が経過し、自治連合会・各種団体の役員が決定して活動がはじまっています。地域活動についてのご意見、ご提案、ご協力の申し出などありましたら、各自治会長や左記団体長にお申し出下さい。

新任団体長紹介

通信 (24)

人と

林公園を探訪

巡礼路として、善峯寺から亀岡の穴太寺へ向かう巡礼者を泊める旅籠が何軒ありました。水田は14町歩もあって一戸当りの耕作面積は大原野より広く以前はかなり裕福な地域だったようです。

ただ、児童は、大原野小学校があまりにも遠いために、高槻市の榎田小学校に通学しているとのことでした。

お話しの後、松尾神社と玄松寺を案内して頂きました。杜は古く境内には杉の太木がそびえていて、その傍らの民家風風建物が玄松寺でした。松尾神社は、以前は大歳神社の神主長嶋氏が兼任されていましたが現在は長岡天満宮の宮司がお祭りに見えるそうです。玄松寺は、火災で焼失後に

切だと感じました。

なお、森林公園で森の案内人の案内を受けたい場合は、水・土・日限定ですが、京都市建設局北部みどり管理事務所 ☎ 075・882・7019 が申込の窓口です。

大原野の歴史に興味をお持ちの方は、本会にご入会頂き共に勉強しましょう。

〈連絡先〉
齋藤利一郎（北春日町野田）
☎ FAX 331・0918
までお願いします。



自尊感情と

主体性を育む

大原野中学校 校長 濱 昭一

この4月に大原野中学校に着任いたしました。早速、校庭の桜に出迎えられる、大原野の校区を散策すると、桜はもちろん豊かな自然を感じることができました。また、地域の方々とお会いしたときには、優しい笑顔と温かい言葉に触れることができ、感慨もひとしおでした。



さて、今年度、大原野中学校は66名の新生を迎え、2年生71名、3年生74名の全校生徒221名で動き出しました。在籍数だけを比較すれば京都市の中では小規模の学校に属しますが、生徒会の積極的かつ主体的な活

動や90パーセントを超える部活動の入部率から考えると、これからの子供たちのさらなる成長がとてもしみじみです。4月29日には、京都市中学校春季総合体育大会の開会式が西京極陸上競

2年目の上里小学校

上里小学校 校長 吉山 茂樹

昨年度、上里小学校に着任して、一年が経ちました。春には子どもたちと一緒に、タケノコ掘り、田植を体験しました。今年度のタケノコは豊作です。地域の先生が持っておられる道具をお借りして、私もたくさんタケノコを掘ることができました。そして、5月には2年と5年の子どもたちと田植をしました。しっかりと泥の感触を楽しみ

ながら、がんばって植えたいと思います。土に触れ、土と話ししながら栽培活動ができるのは、とても貴重です。素晴らしい体験だと思っています。さて、今年度も3つの子ども像を目指して教育活動を進めます。



修学旅行 (6年)

〇自ら考え進んで表現し、学び続ける子
学習に関しては、自分のおもいや考えをしっかりと表現できる子どもを

目指しています。特に、友だちの意見と「つなぐ」を意識して、話し合うことのできる子どもを目指します。

〇人を思いやり、自然と豊かにかかわる子
2つ目は、昨年度人権意識を高めようとした取組を行ってきました。しかし、まだまだ十分でないと感じています。「いじめを許さないやさしさ

で生き抜く生徒の育成」も大事にしていきたいと考えています。そのために、各学年や部活動において地域の様々な活動・行事に参加することを通して、地域や郷土のことを知る機会、地域の方々と交流する体験を積み重ねることが必要です。この積み重ねが子供たちの自己肯定感・自己効力感・自己有用感を高め、主体性を身に付けさせることに繋がってきます。

〇心や体を鍛え、粘り強くやり通す子
最後は、心や体がたくましい子どもになってほしいと思います。昨年度、大文字駅伝の支部予選会で3位入賞を果たしました。また、コミプラの相撲大会では、4年生の女子が1位・2位を独占しました。今年度も目標を高く掲げ、さらに上を目指すことで、社会でたくましく生きる力になると考えます。

〇心や体を鍛え、粘り強くやり通す子
こうした学校の様子、学校ホームページで積極的に発信して参ります。

最後になりましたが、今年度も地域の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

「自ら学ぶ」

大原野小学校 校長 岩田 聖次



地域の皆様には、平素は大原野小学校の教育推進にご支援ご協力をいただき誠にありがとうございます。

4月14日以降、熊本県および大分県で連続して発生した一連の地震により、お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災されました皆様にお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈りいたします。

さて、大原野小学校は、4月に29名の新一年生を迎え全校児童208名で平成28年度をスタートしました。

今年度の重点の一つとして、「自ら学ぶ」をキーワードに、子ども自身が自ら進んで学ぶ力を培っていききたいと考えています。

4月27日・28日に、6年生が愛知県名古屋市方面に修学旅行に行ってきました。6年生の子どもたちは、事前に愛知県や

名古屋に関するについて、調べる学習をしました。

「愛知県の名物・名産」「名古屋城」「愛知ゆかりの武将」など自ら決めたテーマで、本や資料・インターネットを活用し調べました。学校での学習時間のみならず、家庭での自主学習でも熱心に取り組んだ子どももいたようです。修学旅行前日には、調べたことの発表会を行い、お互いの研究成果を交流しました。

修学旅行当日、旅館では「みそかつ」や「きしめん」を頂きました。また、バスの車窓からは、「中村区」「太閤通り」という豊臣秀吉ゆかりの地名の道路標示や名物名産を売る店の看板を見ることができました。テレビ塔からはライトアップされた名古屋城も見えました。子どもたちにとって、調べたことと実際の体験や見学がつながり、興味・関心が増したようです。今後さらにこの学習を社会科の歴史学習や愛知との比較により、自分の住む京都や大原野を見つめなおす学習につなげていきたいと思っています。

どの学年でも自ら立てた課題や自ら感じた疑問を追究する学習を大切に、子どもたちの「自ら学ぶ力」を育てていきたいと思います。

大原野こども園

美味しく・楽しく食事が出来るように、



お昼ごはんを使う野菜の下ごしらえを子ども達と一緒に取り組み、食への意欲に繋がっています。

大原野幼稚園



大原野幼稚園には図書室があり、年中児から週1回図書の貸し出しをします。絵本サークルのお母様方が図書室の整備や本の読み聞かせなど、子ども達の為に尽力してくださっています。

上里竹の子こども園

もちつき大会は子ども達の楽しい行事です。



さねや麵棒で餅をつく表情は真剣。「きな粉餅も焼餅もやわらかくて美味しいなあ。」

のびゆく園児たち

体振だより

夏の太陽がまぶしい季節となりました。
大原野地域の皆様には、体育振興会の活動に対し、深いご理解とご支援を賜わり、厚く御礼申し上げます。

さて、今年度も新しい本部役員及び地域役員の方々を迎え下記の通り事業を進めて参ります。

地域住民の皆様が、より一層市民スポーツに関心を持って頂き、体育振興事業を通して個人の体力向上・健康保持増進はもとより、地域の皆様が交流と親睦を深め、地域力の向上に役立てて頂くことを願っております。

今後も、役員一同市民スポーツの発展のために努めて参りますのでより一層のご理解を頂き、大会のご参加・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

大原野体育振興会長 上田清和

平成28年度 体育振興会事業（大原野地域事業）

4月24日(日)	P.M. 7:30	体育振興会総会	総合自治会館
6月12日(日)	A.M. 9:00	バレーボール大会	大原野小学校体育館
6月26日(日)	A.M. 9:00	ソフトバレーボール大会	大原野小学校体育館
7月24日(日)	A.M. 9:00	ボウリング大会	京都エニースボウリング場
10月2日(日)	A.M. 8:45	第57回大原野区民体育祭	大原野中学校グラウンド
10月30日(日)	A.M. 9:00	ソフトボール大会	光華女子大原野グラウンド
11月20日(日)	A.M. 9:00	グラウンドゴルフ・ペタンク大会	大原野中学校グラウンド
〈平成29年〉			
2月5日(日)	A.M. 9:00	卓球大会	大原野小学校体育館
3月26日(日)	A.M. 8:45	里山ウォーキング（主管事業）	

（集合：大原野小学校グラウンド）

その他、京都市大会及び西京区大会・洛西七地域大会に大原野代表チームとして多数参加致します。



ペタンク
西京区体振40周年記念大会
ファミリーバドミントン



京都マラソン沿道整理
ボランティア参加

平成28年度 本部役員・各部部长（順不同）

会 長	上田 清和	総 務	吉永 隆治
顧 問	高岸 道男	総 務	斉藤 恵子
副会長	上羽 正樹	総 務	奥村 尚子
副会長	松下 誠（スポーツ推進指導員）	総 務	森上 勘一
副会長	西村 義直	総 務	大槻 得三
副会長	田畑 麗子	総 務	町田健太郎
会 計	下村 浩子	総 務	竹内 信浩
会計監査	森脇 竜也（地域役員）	総 務	石河 悦子
会計監査	岡 学司（地域役員）	総 務	山本真知子
スポーツ推進指導員	村上 良弘	〔各部部长〕	
スポーツ推進指導員	片岸 光史	ソフトバレーボール部	田中 雅喜
スポーツ推進指導員	田邊 嘉美	卓球部	森上 勘一
〔学校体育施設開放事業運営委員会〕		ペタンク部	大槻 得三
委員長	上田 清和	ソフトボール部	町田健太郎

※各クラブの部員を募集しています。気軽に入部して下さい。

各クラブ・各事業・学校体育施設利用・夜間校庭利用に関する問い合わせやご質問は上田（☎331-0385）まで連絡して下さい。
尚、学校施設利用については、西京区学校施設開放に関する運営要綱及び学校体育施設開放規定・夜間校庭開放事業規則による。

大原野地域の主な行事予定（平成28年7月～12月）

7月～8月	毎金・土曜日に少年補導委員会・防犯推進委員協議会による管内全域の安全パトロール	
7月3日(日)	自主防災会リーダー研修	大原野総合自治会館
7月8日(金)	社協ふれあい事業“なぬか会”	大原野総合自治会館
9月4日(日)	秋のハイキング ぶどう狩り	（少年補導委員会） 千弥農園
9月6日(火)	社協ふれあい事業“なぬか会”	上里小学校
9月17日(土)	コミプラすもう大会	大原野中学校
9月20日(火)	市民健診	大原野小学校
9月29日(木)	社協ふとんクリーニング	（右京の里以外の全地域）
10月1日(土)	共同募金運動（12月31日まで）	
10月2日(日)	第57回大原野区民体育祭	大原野中学校
（雨天の場合は9日(日)に順延）		
10月5日(水)	市民健診	上里小学校
10月7日(金)	社協ふれあい事業“なぬか会”（バス旅行	行先未定）
10月14日(金)	市民健診（外畑町・出灰町地域）	外畑公民館
11月7日(月)	社協ふれあい事業“なぬか会”	大原野小学校
11月13日(日)	第22回フェスタ大原野	大原野中学校
11月下旬	風土・Food大原野2016	未定
12月3日(土)	わら細工教室	上里小学校
12月20日(火)	消防分団による歳末特別警戒パトロール（12月31日まで）	管内全域

定例会議／事業

自治会長会議	毎月第3土曜日
使用済み食用油回収事業	毎月第3土曜日
大原野小学校古紙回収（PTA）	毎月第2土曜日
上里小学校古紙回収（PTA）	毎月第3木曜日
大原野中学校古紙回収（PTA）	毎月第4金曜日
□子育て支援事業（対象者：これからママになる方、0～3才の乳幼児とその親）	
●ママ・ちゃいんど大原野 平安徳義会他4個所を順番に（10:00～11:30）	
	毎月第2木曜日

〔社会福祉協議会〕関係

□健康すこやか学級（対象者：65歳以上の方）	
●やさしい筋トレ	大原野総合自治会館 毎月第1・3木曜日
〃	右京の里会館 毎月第2木曜日
●たのしい筋トレ	上里小学校コミュニティホール 毎月第4木曜日
●おしゃべり会（年齢制限無し）	右京の里会館 毎月第3火曜日
	（8月は休み）
●まろやかクラブ（囲碁・将棋）	大原野総合自治会館 毎週火曜日

「悠愛会」の会長を任されて

大原野老人クラブ連合会長 山本 昇

活動しております。

「すこやかクラブ」未
来に向かって輝け住みよ
い西京区」をスローガン
にかかげて西京区制40周
年の節目の年に大原野老
人クラブ連合会「悠愛会」
の会長を任されまして、
重大な任務であると痛感
する次第です。
大原野に移り住んでま
だ日が浅く、風土や風習
に慣れない身であります
ので、これからは十二分
にいろいろと勉強して行
く覚悟でございます。
私たち老人クラブでは、
各地域において一人ひと
りの生きがいの充実を基
盤に、健康・友愛・奉仕
の全国三大運動を基本に

活動しております。
「悠愛会」は親睦をは
かるため、年間を通して
グラウンドゴルフ・ウォ
ーキング・ペタンク・健
康教室などを行っていて、
何時もボウリング大会等
では優秀な成績をあげて
おります。秋には一泊旅
行等に行ったり、大変楽
しい行事がいっぱい計画
されています。
皆様のご参加をお待ち
していますと共に、是非
とも温かいご協力とご指
導を賜わることをご指
願い申し上げます。就
任の挨拶に代えさせて頂
きます。

編集余談

《天ぷら油回収》

月～金 A.M. 9:30～P.M. 4:00
大原野総合自治会館
— 持参した容器は
必ず持って帰って下さい —

《アルミ缶プルトップ回収》

月～金 A.M. 9:30～P.M. 4:00
大原野総合自治会館
プルトップをあつめて車椅子をもら
いましょう！ご協力お願いします。

熊本・大分の地震は、
阪神淡路大地震同様の活
断層型でした。私たちの
周りの活断層といえば、
檜原断層と光明寺断層で
す。
檜原断層は、向日町競
輪場を南端とし北西方向
へ桓武天皇皇后陵、淳和
天皇火葬塚、檜原廃寺跡
を通って嵐山の方へ延び
ています。また、光明寺
断層は、灰方、上羽から
光明寺の入り口、西山公
園、長岡天満宮の方へと
延びています。
防災マップなどこの機
会にチェックしておくこ
とをお勧めします。
「大原野だより」63号
への寄稿ご協力ありがと
うございました。皆様方
のご意見ご投稿をお待ち
しております。
（啓）